

Transcultural Exchanges: Poetry and Translation

Prof Peter Robinson (University of Reading, UK)

立教大学文学部文学科英米文学専修主催公開講演会

2017年7月7日（金） 18:30～20:00

立教大学池袋キャンパス11号館 A203教室

（参加費無料・予約不要）

【講演概要】現代詩人また批評家として詩の世界に長らく関わってきた講師が、戦後日本を代表する詩人・茨木のり子の作品を題材に、彼が日本人の学生や研究者との交流を通じて彼女の作品を英語に翻訳した事例を具体的に示しながら、翻訳と多文化主義の現在を明らかにする。また、日本人による彼の作品の日本語訳にも触れ、英詩を日本語に翻訳する問題についても触れる。使用言語は英語（通訳なし）。

【講師紹介】ピーター・ロビンソン氏は英国レディング大学英文学部教授。現代詩と翻訳の問題を研究対象としながら、ケンブリッジ大学在学中より、自身も詩人として活動。詩人としてチェルトナム賞やジョン・フローリオ賞を受賞しているほか、研究書の主著には *Poetry & Translation: The Art of the Impossible* (Liverpool UP, 2010) や *The Oxford Handbook of Contemporary British and Irish Poetry* (Oxford UP, 2013) などがある。京都大学・東北大学・京都女子大学でも教鞭を執っていたため、日本にも造詣が深い。

【問い合わせ先】英米文学専修教授・岩田美喜 (mikiwata@rikkyo.ac.jp)

※講演会に先立ち、17:00より立教大学池袋キャンパス内の松本楼にて、講師を囲んだレセプションを行います（先着順・無料）。参加ご希望の方は、上記アドレスまでご連絡ください。

somebody's August 2014 (7 aug 2014)